



Bustle of the town Omaezaki Port

外国クルーズ船「ウエステルダム」 御前崎港に初寄港

外国クルーズ船「ウエステルダム」(全長285.24m、82,862トン)が4月11日、外国籍の客船として初めて御前崎港に寄港しました。

今回「ウエステルダム」は、横浜を発着し、15日間かけて御前崎のほか神戸や韓国の釜山などを周遊しました。同船には乗組員776人、乗客1,791人が乗船。乗客は会場の物産展を楽しんだほか、シャトルバスやバスツアーを利用し御前崎灯台や掛川城などの観光名所に出掛けました。

御前崎港客船誘致協議会の会長を務める柳澤市長は、「コロナ禍で受け入れを断念していた外国クルーズ船の初寄港が叶い、うれしい。御前崎の歴史や文化、食を堪能してください」と話しました。

お見送りイベントでは、御前崎市出身の書道家村松歩実さんが巨大な紙に「御前崎」などと力強く筆を走らせ、乗客を魅了しました。出港時には、来場者が再来訪を期待し、大きく手を振って見送りました。

1朝6時30分ごろに西埠頭に接岸した「ウエステルダム」。大漁旗やなぶら御前太鼓で出迎えた234お茶や着物など日本文化を楽しむ乗客5記念品を贈り合う柳澤市長、杉本牧之原市長、ホーグダレム船長6御前崎港周辺の観光に出掛ける乗客7再来訪を願い、大漁旗で見送る来場者

